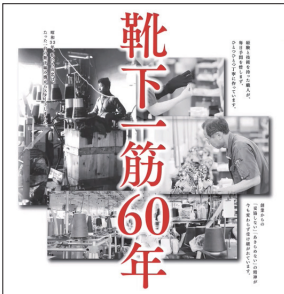


【報告】第16回弊社主催オンラインセミナー
『2021年6月29日日本格オープン！
ファクトリーショップ「足と靴下の店 ごえん」への招待状
～足底圧計測システム「footscan®」の活用実例を交えて～』



中山 中林 功一氏

9月11日(土)、第16回弊社主催オンラインセミナーを開催致しました。
今回は、2020年10月開催の第7回同セミナーにご登壇頂きました(株)山忠(以下、同社)会長中林氏と同社係長亀山氏を再びお迎えし、同社が2021年6月29日に本格オープンされたファクトリーショップ「足と靴下の店「ごえん」」からのライブ中継をメインに、そこから広がる新たなご縁、創業から60余年、企業還暦という節目を越えた現在、事業を守り、育み、継承する為の戦略、今後の事業展開、地域社会への貢献等についてお話を伺いました。



同社には創業当時から大切に継承されている「商品開発指針十ヶ条」があり、中でも「靴下を媒体として健康を売る」という初代の教えは、人生100年時代に突入したと言われる日本社会への先見とも言える(※2面へ続く)

「愚直に、ただひたすらに」
先代からのバトンをいかに引き継ぐか
創業以来のロングセラー商品「足うら美人」始め、中林氏自ら医療系大学院で学び直して開発に臨んだ「ケアソク」シリーズも大変好評を博している同社。
しかしながら、先代から事業を引き継ぎ、社長として15年、会長として2年に渡り国産の靴下製造・販売業を牽引してきた経験を通して、最盛期には200社あった東京がほぼゼロに、地元新潟では50社からわずか2社となっている現状を前に、日本の地場産業再興に向けた試行錯誤は今もなお続いているとのこと。
「企業還暦」を越えて
創業の原点(精神)に還る

ギシナビ News
令和3年10月【017号】

DreamGP
Dream Growing Platform
株式会社ドリーム・ジーピー
【大阪本社】
〒556-0004
大阪市浪速区日本橋西1丁目3-19 南海日本橋ビル1F
TEL:06-4708-4877 / FAX:06-4708-4789
「弊社主催オンラインセミナー動画」
ホームページへのアップロード情報
「シューズのメカニクス」とは？
代表取締役 荒山 元秀
アーカイブ動画、続々アップ中！
【第13回(2021/5/16)】高山 かのる氏
【第15回(2021/7/10)】弊社代表 荒山 元秀
ギシナビ 検索
https://www.gishinavi.com/

第17回 Zoom 利用による無料オンラインセミナー

義肢装具士の皆様へ

2021年10月21日(木)
18:00~19:30

「Exercise Is Medicine、僕らと一緒に「歩く人。」増やしましょう
～“地域をつなぐ”ヘルスケアシステムの構築～」

【演題】

- 18:00~19:00
『Exercise Is Medicine、僕らと一緒に「歩く人。」増やしましょう
～“地域をつなぐ”ヘルスケアシステムの構築～』
客員講師：佐藤 真治 氏
(帝京大学 医療技術学部 スポーツ医療学科 健康スポーツコース 教授)



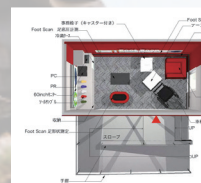
佐藤 真治 氏



佐藤氏共著
(創英社/三省堂書店)

~~~~~ 休憩 (19:00~19:05) ~~~~~

- 19:05~19:30  
『“新しい空間のカタチ”のご提案  
～「CUBE Minny」義肢装具モデル、誕生!!～』  
講師：小関 隆一 氏 (ちきゅうにやさしい株式会社 事業責任者)  
成毛 喜男 (弊社執行役員)



【お申込み・お問合せ】※お申込み期限：10月19日(火)

主催 (株)ドリーム・ジーピー  
TEL: 06-4708-4877 / FAX: 06-4708-4879  
E-mail: info@dreamgp.jp

・氏名(ふりがな)、貴社名、所属名・役職、電話番号、メールアドレス)をご用意の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。  
セミナー当日、お伺いしたメールアドレスへ専用URLを送信致しますので、そちらをクリックしてご参加下さい。



るのではないだろうか。

また、人生に節目があるように、企業にもまた節目があり、その節目をどんな風に作るか…、真のお客様は誰か…、原点に立ち還るべく、暗中模索を続けながら自身を追い込んで考え続けた結果、ある日、「それは足だー！」との声が聞こえてきたとのこと。

「大きくするより良くする」  
様々な邂逅、新しい事業のカタチへ

その後は導かれるように弊社代表荒山との邂逅がある等、弊社からご導入頂いた足底圧計測システム「Footscan®」がケアソク開発時の実証実験に大いに寄与したということは大変嬉しいエピソードでした。

オープンから4か月を経たファクトリーショップ「足と靴下の店「えん」」の

【報告】第16回弊社主催オンラインセミナー  
参加者様のご意見・ご感想

(※一部抜粋、原文ママ)

●山忠様の靴下に対する思い、商品を売るだけでなく、お客様に靴下で健康になっていただき、世の中の役に立ちたいという考え方に感銘を受け、自分の商売に対する考え方を改めなければいけないと痛感いたしました。(M様) ●山忠・中林会長のお話の中で、自分たちのお客様は誰であるか考え抜いて、それは足であるというFACTに到達されたお話が印象的でした。これを見つるまでに相当な思考の過程を辿られたからこそ、自信をもってたった1つに絞り込



亀山氏によるライブ中継の様子

現地ライブ中継では、靴下と同じニット素材の暖簾を潜ると、天井から床まで地場産物の総桐張りの柔らかな空間が広がる。

昨年につき、今年もまた、雪国から心温まるひと時を頂きました。

なお、本セミナーのアーカイブ動画は、



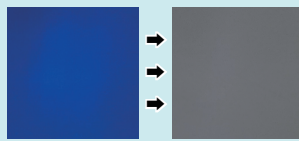
「かもえんがわ」が空間コンセプト



後日「ギシナビ」サイトにて公開予定。  
同社制作プロモーションビデオから

むことができたのだと感銘を受けました。また、開発指針というものがあつた。この商売は最高の商売である、これをやらせていただけることに感謝する、という会社の根幹となる方針に、同社の強さの根源を教えてくださいました。(K様)

(株)ドリーム・ジーピーから、  
EVA(硬度60度)の  
カラー変更のお知らせ



インソール切削用資材として取り扱っておりました3種類のEVAの内、青色(60度※中間硬度)のカラーを10月からグレーに変更致しました。ご注文・サンプルのご要望は、06-4708-4877またはinfo@dreamgp.jpまで。



【紹介】  
日々の研究、ほんのひとコマ  
義肢装具のための  
高度な三次元足型計測技術



「原文はこちらから」

アドウアヨム・アハゴ・アクエテビ (弊社研究員) 荒山元秀 大阪、日本  
株式会社ドリーム・ジーピー

足は、日常生活活動を行うために自由に自立して動くための人体の最も重要な部位の一つです。そのため、身体のバランスと安定性は、足の構造と地面との接触に依存しています。適切にフィットした靴を履き、快適に過ごすことで、顧客は痛みを感じることなく楽に歩くことができます。適切な靴を選ぶために、その靴に合うように自分の足を測定することを目的とします。また、義肢装具を製造するためには、臨床医は足型を測定する必要があり、従来、これらの足型や測定の方法とは、キャスト（ノギス）、キャスト（鋳造）、フォームインプレッションテクニック（トリッシュャム）、そしてメジャーを使って行われていました。その結果、これが靴屋のスタッフや足を測定する臨床家との接点となります。近年、フットウェア業界では、3次元（3D）フットスキャン技術が登場し、足の形状を測定するために広く使用されています。この3D足型測定により、顧客は自分の足に適切にフィットするインソールや靴を注文することができます。2019年12月以降、私たちの伝統的なライフスタイルは、世界的なパンデミックである新型コロナウイルスの影響を受けています。本発表では、クライアントに接触するリスクを潜在的に低減する3D足型計測技術の動向を紹介いたします。義肢装具やフットウェアを製造するために、非接触型の方法でクライアントの足を測定する研究やイノベーションを共有します。

学習目標

1. 三次元足型計測の最新動向に関する知識を得る。
2. 義肢装具のデザイン、製造、フィッティングのためのデータ取得プロセスを理解する。
3. 参加者は、四肢に障害を持つ人々の装具管理における世界的なトレンドを理解する。



「ウィズコロナ・ポストコロナ時代の健康施策と運動療法」をテーマに、同出身で2008年北京オリンピック・陸上男子4×100mリレー銀メダリストの朝原宣治氏のご登壇など、なかなか豪華な顔ぶれで、参加したセッションの中

【Report】  
9月11日(土)・12日(日)  
ハイブリッド開催  
「第40回日本臨床運動療法学会学術集会」  
参加報告

皆さん、こんにちは。  
(株)ドリーム・ジーピーの江口と申します。  
去る9月11日(土)と12日(日)の2日間、同志社大学今出川キャンパス(京都市上京区)とWeb会場にてハイブリッド開催された「第40回日本臨床運動療法学会学術集会」に参加する為、京都を訪れました。

では特に、高血圧や糖尿病等の方に対する運動による介入効果等についての発表が印象的でした。  
弊社においても「足から始まる健康」をスローガンに、日々、健康経営への取り組みを模索する中で、足の痛み等の為に運動をしなくても叶わない方々へのなお一層のアプローチが求められると感じています。  
今回の学会参加は、帝京大学医療技術学部教授の佐藤真治氏のご紹介により実現したのですが、知見を広げ深める好機を頂きましたことに深く感謝致します。

「足から始まる健康」をスローガンに、日々、健康経営への取り組みを模索する中で、足の痛み等の為に運動をしなくても叶わない方々へのなお一層のアプローチが求められると感じています。



## **Advanced techniques in three-dimensional foot morphology measurement for foot orthotics**

**Akouetevi Aduayom-Ahego, Motohide Arayama**

Dream GP, Inc. Osaka, Japan

The foot is one of the most important parts of the human body to move freely and independently to conduct daily living activities. Thus, the body's balance and stability depend on the foot structure and its contact with the ground. To properly fit footwear and with comfort, the customer can walk easily without pain. In order to choose an appropriate shoe, one is intended to measure his or her foot to suit the shoe. To manufacture a foot orthotic, the clinician also needs to take foot morphology measurements. Traditionally, most of these feet and measurements are made with a caliper, casting, foam impression technique, and a measuring tape. And eventually, this will cause contact with the shoe store staff or the clinician measuring the foot. Recently, three-dimensional (3D) foot scan technology has emerged in the footwear industry and is widely used to measure foot shape. These 3D foot shape measurements enable the client to order insole and footwear that will properly fit his / her foot. Since December 2019, our traditional lifestyle has been affected by the global pandemic novel coronavirus. This presentation will highlight the trends in the 3D foot morphology measurement techniques that potentially reduce the risk of contacting clients. We will share research and innovations that use contactless methods to measure the feet of the clients in order to manufacture foot orthotics and footwear.

Learning objectives:

1. Attendees will gain knowledge about the current trends in three-dimensional foot morphology measurement.
2. Understand the process of data acquisition for foot orthotics designing, manufacturing, and fitting.
3. Participants to appreciate the global trend in orthotic management of people with limb impairments.